



災害時に注意すべき感染症

- 2026年8月13日に発生した令和8年8月千葉豪雨では、県内各地で浸水被害が発生しました
- 災害時には、汚染された土壌や水からの感染、傷口からの感染など、感染症のリスクが高まります
- このうち、水災害でのリスクが高まる感染症として、以下の3疾患に注意が必要です

レジオネラ症

届出状況

2026年第33週に3例、2026年累計91例
2016-2026年第33週累計1,045例
(男性80%、60歳以上77%)

感染経路

汚染河川水の吸引・誤嚥、汚染土壌粉じんの吸入、エアロゾル（高圧洗浄など）。
ヒト-ヒト感染は通常なし

臨床

肺炎型の潜伏期2-10日。全身倦怠、頭痛、食欲不振、筋痛に続き、咳・38℃以上の発熱・悪寒・胸痛・呼吸困難・下痢。意識低下や幻覚、振戦を伴うことあり。高齢者・大酒家・喫煙者・透析/移植/免疫不全でリスク高。ポンティアック熱は1-2日で発症し一過性

予防

高圧洗浄や腐葉土・粉じん作業、清掃・がれき除去ではマスク着用

破傷風

届出状況

2026年第33週は新規なし、2026年累計3例
2016-2026年第33週累計55例
(男性64%、60歳以上78%)

感染経路

外傷部から土壌中芽胞が侵入

臨床

潜伏期3-21日（平均10日）。開口障害、顔面けいれん、嚥下困難から、呼吸困難・後弓反張へ。
重症では呼吸筋麻痺で致死性

予防

ワクチンが有効（未接種高齢者に注意）
汚染創の洗浄、状況によりワクチン＋免疫グロブリンの曝露後予防

レプトスピラ症

届出状況

2026年は届出なし。
2016-2026年第33週累計5例（全員男性：
70代2例、10代・20代・60代が各1例）

感染経路

げっ歯類など保菌動物の尿で汚染された水・土壌が傷口や粘膜に接触。
豪雨・洪水後の水辺作業や農作業で報告

臨床

潜伏期5-14日。突然の悪寒・発熱で発症。軽症は感冒様で自然軽快、重症は黄疸・出血・腎障害で致死性になり得る

予防

汚染水・土壌・動物体液が傷口・粘膜に触れない服装（防水性防護具など）を着用

浸水した家屋の感染症対策

- 感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です
 - 清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません
 - 屋外（床下や庭）の消毒は原則不要です

消毒の前に十分清掃しましょう！

- ほこりから目や口を保護するため、ゴーグル・マスクを着用
- 清掃中のケガ予防に、手袋・底の厚い靴などを着用
- ドアと窓をあけて、しっかり換気
- 汚泥は十分に取り除き、しっかり乾燥
- 清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません

主な消毒液と使用方法

- ゴム手袋・長靴、ゴーグル等を着用して作業しましょう！
- **次亜塩素酸ナトリウム** 汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います
- **アルコール、塩化ベンザルコニウム** 色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム （家庭用塩素系漂白剤でも可）	0.02%に希釈する ①食器用洗剤と水で洗う ②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒液を含ませた布で拭き、その後水洗・水拭きする ③よく乾燥させる	0.1%に希釈する ①泥等の汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く ③金属面や木面など色褪せが気になる場合には、水で2度拭きする
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う ②アルコールを含ませた布で拭く ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のある所では使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②アルコールを含ませた布で拭く ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のある所では使用しない
10%塩化ベンザルコニウム （逆性石けん）	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く

【引用・参考】 厚生労働省 被災した家屋での感染症対策

消毒液の希釈方法

0.1%希釈の簡易的な方法

6%の消毒液の場合…

● 消毒液コップ170cc

バケツ (10ℓ)

● キャップ3.5杯
(1杯=4~5cc)

ペットボトル (1ℓ)

0.02%希釈の簡易的な方法

6%の消毒液の場合…

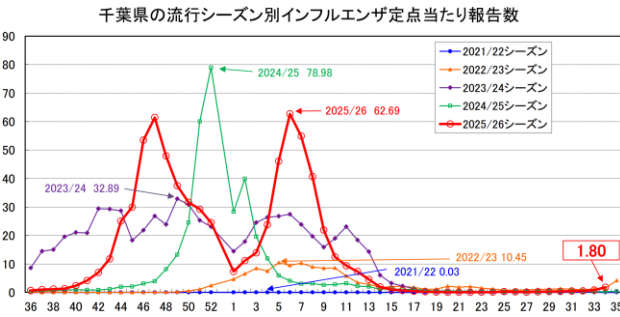
● キャップ7杯
(1杯=4~5cc)

ペットボトル (2ℓ)

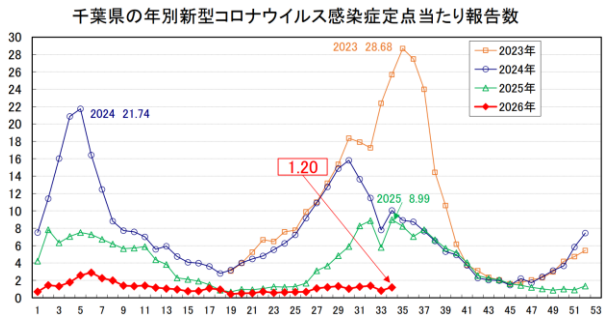
※ 10%の消毒液の希釈方法は以下のリンクから↓
【引用・参考】 厚生労働省 被災した家屋での感染症対策

インフルエンザ&新型コロナウイルス感染症発生状況

第34週の千葉県内インフルエンザ発生状況



第34週の千葉県内新型コロナウイルス感染症発生状況



【引用・参考】 千葉県感染症情報センター

野田保健所管内 感染症発生状況

全数把握疾患			結核			
3類	4類	5類	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核
0	0	0	喀痰塗抹(+)	喀痰塗抹(-)		
0 件			0	1	1	1

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2026年 第34週

定点当たり報告数＝報告数／定点医療機関数

定点	疾病名	流行状況	コメント	34週	33週	32週	31週	30週
	小児科定点医療機関数			107	104	109	109	109
	咽頭結膜熱		野田 (1.5)	0.17 18	0.05 5	0.12 13	0.12 13	0.26 28

【引用・参考】 千葉県感染症情報センター

各種申請はコチラから

新規登録申請

登録内容変更申請

登録削除申請

バックナンバー

千葉県 野田保健所
Noda public health center
〒278-0006
千葉県野田市柳沢24
TEL：04-7124-8155

野田保健所管内の感染症発生動向

Infectious disease outbreak trends in the Noda Public Health Center area

グラフの見方

● 管内 ▲ 県全体 - - 解除基準値 — 警報基準値

1

疾患により警報基準値は異なります。グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します

2

「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します

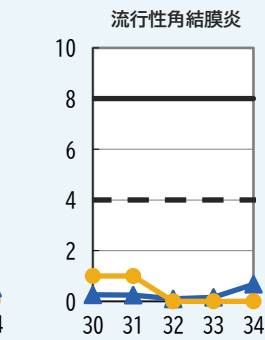
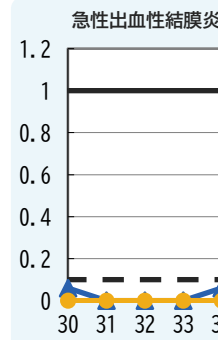
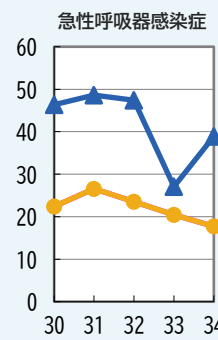
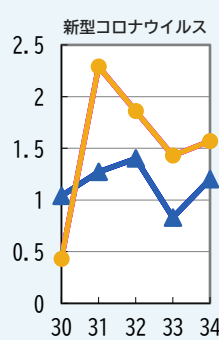
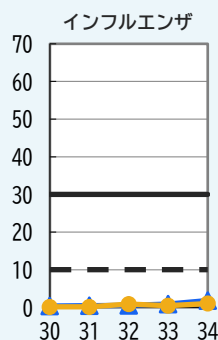
3

この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。「定点あたり報告数」が警報基準値を超えるようであれば、当該感染症が非常に流行していることを表します

※ マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関のみ報告（野田保健所管内に基幹定点はありません）
※ RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・新型コロナウイルス感染症は警報基準値等の設定はありません
※ 令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました

急性呼吸器感染症

眼 科



小 児 科

